

高松大学 高松短期大学

TCEC NEWS
ティセックニュース

Takamatsu University Takamatsu Junior College
Center for Community-based Education and Cooperation

地域連携部門

【大学コンソーシアム香川】の設立と活動

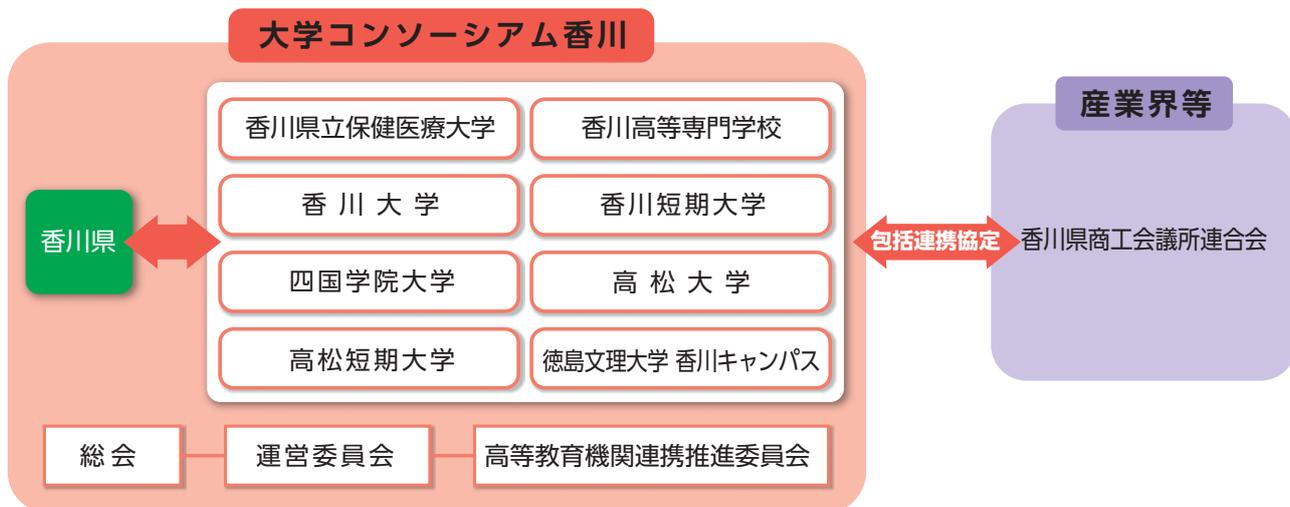
香川県内の大学等(大学、短期大学、高等専門学校)が相互に連携して、情報発信や県内高校等との連携強化等を図ることを目的に、平成27年9月に県内大学等と香川県で構成される「大学コンソーシアム香川」を設立しました。「大学コンソーシアム香川」では、次のような活動を行っています。



1. 広報活動・・・①新聞広告事業 ②県内高校にポスター、チラシ配布する情報提供事業 ③県内高校内に情報提供スペースを設ける事業 ④出前講座等の情報をホームページ等で情報発信する事業
2. 県内大学等合同進学説明会・・・県内高校において全ての県内大学・短期大学による合同説明会を開催
3. 県内自治体等との連携・・・県内大学等に在籍する学生の参加を希望する行事を、積極的に県内大学等へ周知依頼

平成30年9月には、これまでの取組をさらにステップアップするために県内大学等が、新たに産業界を含めて、プラットフォームを形成して、より具体的な事業を連携して行っていくことになりました。その際の基本方針は次の通りです。

1. 「大学コンソーシアム香川」の役割を、大学等の質の向上・魅力化に資する組織にステップアップする。
2. 効果的・効率的な広報活動により、大学等の取組に対する県民の理解を深め、県内大学等への進学率を増やし、若者の県内定着に繋げる。
3. 自治体、産業界、初等中等教育機関等との連携を強化することで、大学等の持つ資源を有効に活用し、地域の課題解決に資する。



お問い合わせ

高松大学・高松短期大学 地域連携センター

[地域連携部門]

〒761-0194 香川県高松市春日町 960 番地 TEL : 087-841-2164 (総務部企画課内) FAX : 087-841-3064

平成30年度地域連携・地域貢献活動

P i c k U p

香川県学生地球温暖化防止活動推進員に発達科学部学生が認定

発達科学部の学生11名が、「香川県学生地球温暖化防止活動推進員」に認定されました。「香川県学生地球温暖化防止活動推進員」は、香川県地球温暖化防止活動推進センターの養成講義を受講後、推進員に認定されました。そして、香川県内において、自主的または関係する機関や団体と連携して、環境省が実施する「COOL CHOICE国民運動」への協力など、地球温暖化防止のための諸活動に取り組み、本学の推進員たちも、今後、さまざまな活動を通して地球温暖化防止を推進していきます。



高松市消防団出初め式に「高松大学防災サポートチーム」が参加

1月6日にサンメッセ香川において開催された高松市消防出初め式に、本学機能別分団「高松大学防災サポートチーム」団員が参加しました。式典では、大西秀人高松市長をはじめ、消防団長ほか来賓の方々から訓示をいただいた後、屋外に移動し、徒歩分列行進等を行い、団員たちも気持ちを新たにしました。機能別分団は大規模災害時に高松市消防団を補佐し避難所運営等に従事していきます。



古高松地区河川等一斉清掃活動に参加

古高松地区住民の総意により「住みよい町づくり」、「ふれあいの町づくり」をめざして行われる河川等一斉清掃に本学も平成16年度から参加しています。今年度の一斉清掃は12月2日に実施され、寒さや低気圧の中、学生・教職員有志93名が、大学周辺の清掃活動に参加しました。開始前に、佃昌道学長から「地域住民の方と協力して地域をきれいにする事で、地域貢献を考える機会にして欲しい」との挨拶があり、教職員及び学生達は地域の方々と共に、大学横を流れる春日川河川敷や土手のゴミ拾い、水路の清掃活動を行いました。



経営学部学生による「むれ源平石あかりロード2018」ボランティア活動

高松大学経営学部の70名を超える学生が、8月4日から開催された「むれ源平石あかりロード2018」のボランティア活動として、お盆の11日を除く毎週土曜日のイベントデーに交代で参加しました。学生は、ロードマップ、うちの配布や来場者の案内、会場の設営や撤去、駐車場の案内、スタンプラリーの支援などを行いました。



高松市「外国人観光客受入環境整備検討座談会」に本学の留学生が参加

6月12日、外国人観光客が急増している高松市は、外国人観光客の満足度を向上させるための受入環境の整備を目的とした座談会を開催しました。座談会には、県内の大学から教員、学生、ゲストハウスの経営者等が参加し、本学からは経営学部の留学生の2名が参加しました。二人とも、生活して困ったことや日本と母国との文化の違いで戸惑ったことなどの体験談を交えながら活発に意見し、他の参加者の皆さんとともに、外国人観光客に満足してもらうために何ができるかを真剣に考えた有意義な会となりました。

